

Machinery 機械科

「工業人として品格を育てる」

「ものづくりは人づくり」という精神のもと、多種多様な実習や資格取得に励み工業人としての品格を備えたエンジニアを育成します。

授業では興味深く学べるように「ものづくり」の基礎からコンピュータを使った機械の専門的知識まで幅広い内容を学習します。溶接・鋳造・切削加工などの機械加工の実習ではものづくりの基礎・基本を学習します。応用実習としてはNC工作機械、CAD、制御などの実習をします。特に、最先端の工作機械はコンピュータで制御が行われているため、プログラム作成や機械工作などの幅広い知識が要求されます。



在校生の声

機械科1年 中山 藍心 (第一中出身)

私が唐津工業高校を選んだ理由は、機械分野の授業と部活動に本気で取り組みたいと思ったからです。機械科の実習では主に旋盤、溶接、鋳造、手仕上げがあり、工業高校でなければ学べないことがたくさんあります。さらに、様々な資格を取得することができ、就職にも役立てることができます。部活動は、楽しく充実した部がたくさんあります。私は、バスケットボール部に所属しています。学年関係なくコミュニケーションを取ることができ、佐賀県トップレベルの指導のもと日々成長することができます。勉強と部活動に本気で取り組みたい人は、ぜひ唐津工業高校に来てください。

機械科2年 住吉 惺太 (佐志中出身)

私が唐津工業高校に1年間通って思った事は2つあります。1つ目は、この学校では自分が頑張れば頑張るほど成績や就職先に繋がるということです。先生方のサポートも手厚く、唐津工業高校に入って、成績が伸びた生徒も多くいます。2つ目は、部活動に力を入れているということです。唐津工業高校には運動部が13種類、文化部が7種類あります。高校総体では、各部活動が優秀な成績を残しています。また、高校総体や野球部の夏の大会期間中は、授業時間が短くなり、部活動に打ち込める時間が増え、私自身も充実した日々を過ごすことができます。生徒と先生が一体となり、進路を実現する高校です。勉強、部活動に全力で励みたい人は、唐津工業高校を志望してください。

機械科3年 井手 義希 (玄海中出身)

私が唐津工業高校を志望した理由は、将来機械を扱う仕事に就く為に知識や技術を学びたいと思ったからです。機械科の授業では、鉄の丸棒を削り、加工して製品を作る旋盤や、2つ以上の金属に熱を加えて、溶かして接続する溶接が学べます。溶接は、自動車や船鉄道車両で使用されています。私は、機械研究部に所属しており、資格取得や製品の精度を競う、ものづくり大会に向けた技術向上のため、日々練習に励んでいます。ものづくり大会前には、企業の方が来てくださり、真剣に指導して下さるので、技術も上がり、目上の人との話し方やコミュニケーション能力も身に付きます。ぜひ、唐津工業高校に来てください。



電 Electronics 「資格を取って進路実現100%」

電気科を卒業すると第二種電気工事士の筆記試験が免除になります。さらに、第三種電気主任技術者免状については実務経験を積みば経済産業省に申請することで取得できます。

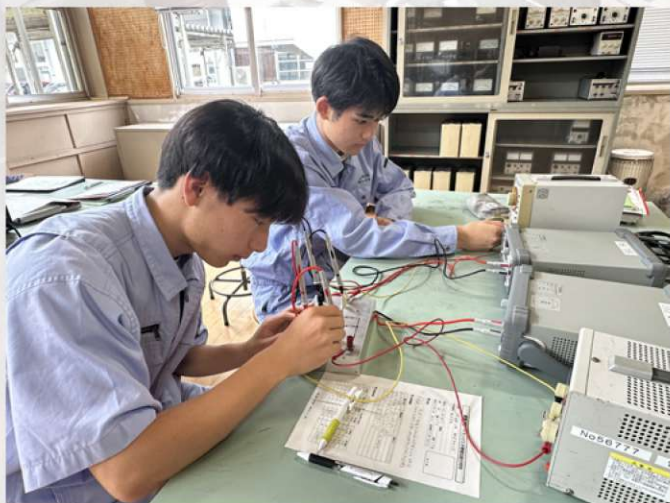
電気は情報通信、電子回路、発電送配電など様々な分野があります。本校の電気科は弱電といわれる電子回路、情報リテラシーとなるパソコン利活用、強電といわれる電気の発生と輸送について基礎から応用まで幅広い分野を学習します。特に実技に力を入れており、毎週1年生で7時間、2年生で3時間、3年生で9時間もの実験実習の時間を取り入れています。また、卒業後の進路は身に付けた専門技術をもとに電気の送配電業、工場や企業の電気設備の保守点検作業など様々な分野に就職することができます。



在校生の声

電気科1年 中谷 宝良 (第五中出身)

私は、ものづくりが好きでその中でも電気回路やプログラムに興味があったので、多くの資格が取得でき電気について詳しく学べる電気科を志望しました。私は、将来電気科で学んだことや取得した資格などを活かせるような仕事に就きたいと思っています。そのために、まずは第二種電気工事士の資格の勉強を毎日頑張り、資格取得に向けてクラス全員で挑戦しています。また、私は電気研究部に所属しており、夏休みに行われる全国高等学校ロボット競技大会佐賀大会に向けて、ロボットの製作やプログラミングをしています。県大会で3位以内に入賞し、全国大会に出場するために日々頑張っています。電気に興味があり、電気系の資格を取得したい人は、是非唐津工業高校の電気科に来てください。



電気科2年 河村 幸亮 (肥前中出身)

私は、体験入学で電気科の実習を体験し興味を持ちました。将来は、電気科で学んだことを活かせる職業に就きたいと思っています。そのために、日々の授業に真面目に取り組み、多くの資格取得にも挑戦しようと思っています。クラスメイトは、明るくとても元気で仲がよく、毎日楽しく充実した高校生活を送っています。部活動は、サッカー部に所属しており、高校総体や選手権大会でよい結果が残せるよう頑張っています。高校でいっしょに夢を実現させましょう。

電気科3年 山野 栞州 (第五中出身)

私は、電化製品などの基盤を見るのが好きで、将来電気関係の仕事に就きたいと思い、電気についてより深く学べる電気科を志望しました。電気科の生徒は、第二種電気工事士などの資格の補習も一人も休むことなく取り組み、ほぼ全員が合格しております。私自身は、第一種電気工事士の試験にも合格でき、とても嬉しかったです。また、私はバドミントン部に所属しており、毎日休まず取り組み周りの手本になるよう一生懸命練習に励んでいます。部活動を頑張ったり、多くの資格取得を目指し、電気関係の仕事に就きたいと思っている中学生のみなさんは電気科にぜひ来てください。

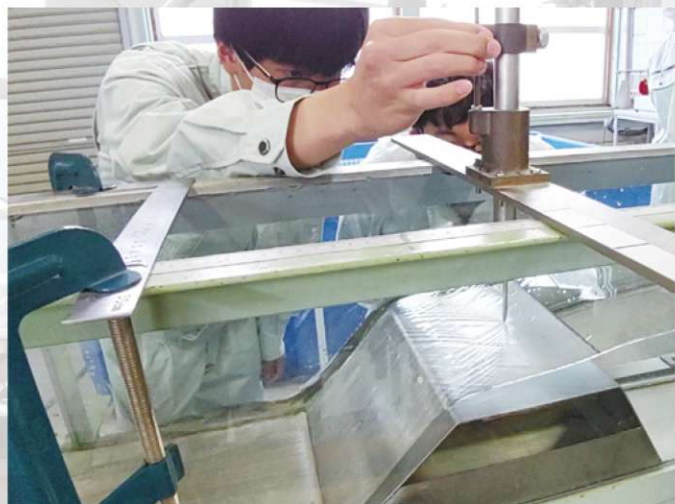


Civil Engineering 土木科

「未来のくらしをカタチに」

実践的な技術や技能、ドローン等の最新技術を身に付けた人間性豊かな未来を担う技術者を育成します。

道路、橋、トンネル、鉄道、港湾・空港、ダム、宅地、上下水道、発電所、河川の堤防など、私たちの生活に欠かせない社会基盤に関わるものを建設するのが「土木」の仕事です。「土木」の仕事は、私たちの生活を安全で豊かなものにする大切な仕事です。これらの事業は国や県などの公共事業として行われることが多く、卒業生には技術者として公務員や民間会社の現場責任者として活躍している人が数多くいます。土木科では、身近な地域にとどまらず、世界を視野に環境問題にも積極的に取り組める建設技術者を育成することを目標としています。公務員、建設技術者、製造業、大学、専門学校など多様な進路選択が可能な学科です。



在校生の声

土木科1年 鶴田 駿斗（第一中出身）

私が唐津工業高校を選んだ理由は、就職に強い実績があり幅広い選択ができると思ったからです。唐津工業高校では、4つの科があり、将来の職業に結びつく専門的な知識や技術を学べます。週に1度実習があり、自分の手を動かして学ぶことができ目に見える成果があるのでやりがいを感じとても楽しいです。また、資格取得では、クラス全員で計算技術検定・パソコン利用技術検定を受験し取得することができます。私は文武両道を意識して学校生活を過ごしています。部活動では土木研究部という工業高校ならではのユニークな部活に入っています。工業系の技術を身に着けることができ、社会に出ても強みになると思います。

土木科2年 中島 裕暉（鬼塚中出身）

私が唐津工業高校を受験したきっかけは、土木に興味があったからです。入学して初めのころは、専門的なことばかりで不安なこともありましたが、先生方にわからないことを訊きに行くと毎回わかるまで丁寧に教えてくださいました。実習では測量やパソコン、コンクリートなどがあり難しいものも多いですがとてもやりがいがあります。また、資格試験ではパソコン利用技術検定や計算技術検定を全員で受験します。他にも測量士補や危険物取扱者などにも挑戦できます。また唐津工業高校では、就職や部活動、進学にも力を入れていて、礼儀作法も学べる学校です。土木科は、とても活気のある学科です。少しでも土木に興味があれば是非訪れてみてください。

土木科3年 吉田 広夢（鏡中出身）

私は、将来何がしたいか考えていませんでした。中学生の頃唐津工業の体験入学に参加し、そこで土木について興味を持ち土木科に入学しました。部活はサッカー部に入り、3年生の時には土木研究部にも参加しました。サッカー部の部活が終わった後に土木研究部に参加していました。大変でしたがどちらの大会にも出場し、とてもいい経験になりました。資格試験では、パソコン利用技術検定や計算技術検定などクラス全員で受験したり、危険物取扱者の資格にもチャレンジし取得しました。唐津工業では、就職も進学も部活動もすべてに力を入れています。礼儀作法なども学べるので立派な社会人としての成長もできます。ぜひ唐津工業高校を訪れてみてください。



Architecture 建築科

「付加価値ある工業人の育成」

建築科を卒業した年に2級建築士が受験でき、合格したら最短20歳で1級建築士が受験できます。授業や実習を通して身につけた知識や技術を生かし、地域社会に貢献する工業人を育成します。

あなたは将来どんな家に住みたいですか？きっと、素晴らしい夢や希望を持っていることでしょう。そんな夢を実現できる仕事が「建築」です。設計士、現場監督、大工、測量などの各専門の技能者として、自分の造った建物が形として残る、非常にやりがいのある仕事です。その建築のプロになるべく、建築に興味や関心があり、図面を描いたり現場で建物を造ったりすることが好きな生徒を歓迎します。建築科では、建築の基礎から応用まで分かりやすく指導しますので技術の習得はもちろん、建築大工3・2級をはじめ測量士補、2級建築施工管理技士（学科）など多くの専門的な資格を取得することができます。また、情報化社会に充分対応できるよう最新の建築専用CADを導入し、実習などの授業を中心にその操作方法を習得することができます。



在校生の声

建築科1年 川口 佳音（第一中出身）

建築会社を経営している父の仕事姿に憧れ、父のようになりたいと本校に入学しました。建築という初めての分野を学ぶのは難しいことばかりですが、日々、授業や実習を通して専門知識が増え建築の素晴らしさを感じるとともに、父のすごさを実感しています。

座学や実習で、木材やその加工の仕方、製図、測量など他では学べない建築に関する内容を学んでいます。本校では多くの部活動が様々な大会で成績を残しています。私はバスケットボール部のマネージャーとして日々選手のサポートに取り組んでいます。全国一勝という目標に向けて選手を支えるこの立場にやりがいを感じています。勉強と部活の両立は大変ですが、部活動から学ぶことも沢山あり充実した毎日を送っています。部活動や建築の、そして本校の魅力を多くの方に知ってほしいと思います。



建築科2年 松尾 涼佑（相知中出身）

私は幼少期よりものを作ることが好きで建築に興味を持つようになり、資格をたくさん取得したいと思い建築科を受験しました。建築科では製図や構造、設計、施工、その他にも実習ではCADや木材加工、模型製作などパソコンや建築に関する道具を実際に使いながら知識や技術を学ぶことができます。私は測量士補という難しい資格に挑戦しました。始めは不安もありましたが友達と互いに支え合って最後まで頑張り、合格した時は大きな達成感とともに将来にまた一步近づいた気がします。今後も勉強と剣道の部活動を両立しながら目標に向かって頑張っていきたいと思います。

建築科3年 小島 凜太郎（海青中出身）

私は大工をしている祖父の影響で幼い頃からものづくりに触れることが多く、中学生の時に大工になりたいと思い本校を志望しました。建築科では設計や構造などの座学だけでなく製図や木材加工、CADなどの実習があり専門的な知識や技術が学べます。また、多くの資格を取得でき、私は建築大工技能士二級に挑戦し、先生方の熱心な指導のおかげで合格することができました。私が所属する建築研究部の部活動では、製作した物品を文化祭で販売したり、地域に必要とされるものづくりに取り組んでいます。技術だけでなく使う人のことを考える心を養うことができます。また、ものづくり佐賀県大会の木材加工部門に学校の代表として出場し入賞することができました。将来は大工の道に進んでいきたいと考えています。

